

跨境。

国際シンポジウム「海峡をまたぐ歴史」

報告者：アレクサンドル・コスタノフ（サハリン州文書管理局）、ミハイル・ヴィソーコフ（サハリン国立大学）、イーゴリ・サマーリン（サハリン州文化局）、マリーナ・グリジャーエヴァ（サハリン州文書管理局）、白木沢旭児（北海道大学）、池田裕子（稚内北星学園大学）、山田伸一（北海道立開拓記念館）

北海道・サハリン・ニコラエフスク——

国境を越え、地域をつなぐ北の海の新しい歴史が始まる。

プログラム詳細



日時：8月27日(土)13:10-17:10
28日(日) 9:00-16:30

場所：稚内北星学園大学



昭和5年ころの大泊
『日本地理体系10 北海道樺太篇』

主催：稚内北星学園大学 共催：北海道大学GCOEプログラム「境界研究の拠点形成」 後援：稚内市、猿払村、サハリン・樺太史研究会

お問い合わせ：稚内北星学園大学（岩本和久・池田裕子） 0162-32-7511